

都市再生整備計画 事後評価について
(鎌倉駅周辺地区)
第2回 評価委員会

平成27年1月23日

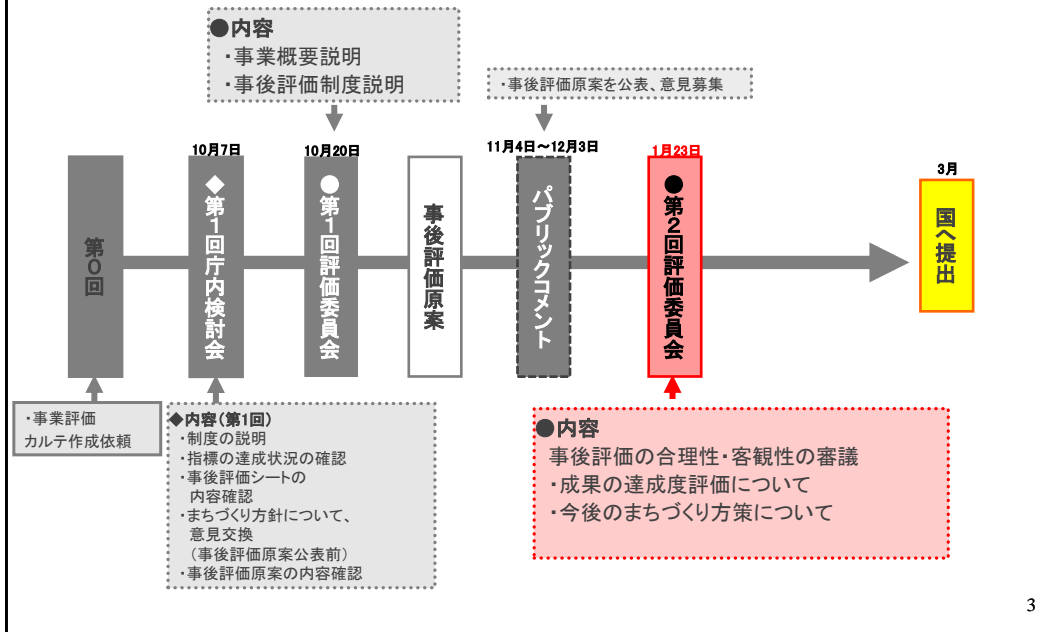
鎌倉市 経営企画部 経営企画課

目次

- 1. 事後評価の実施概要**
- 2. 事業の概要**
- 3. 事後評価の結果について**
 - ①成果の達成度評価について
 - ②事後評価原案の意見募集
 - ③今後のまちづくり方策について
 - ④フォローアップ計画について
- 4. 今後のスケジュールについて**



1. 事後評価の実施概要 全体スケジュール



1. 事後評価の実施概要

事後評価シートの参照ページを赤枠内に記載しております。合わせてご覧下さい。

都市再生整備計画 事後評価シート(案)

鎌倉駅周辺地区

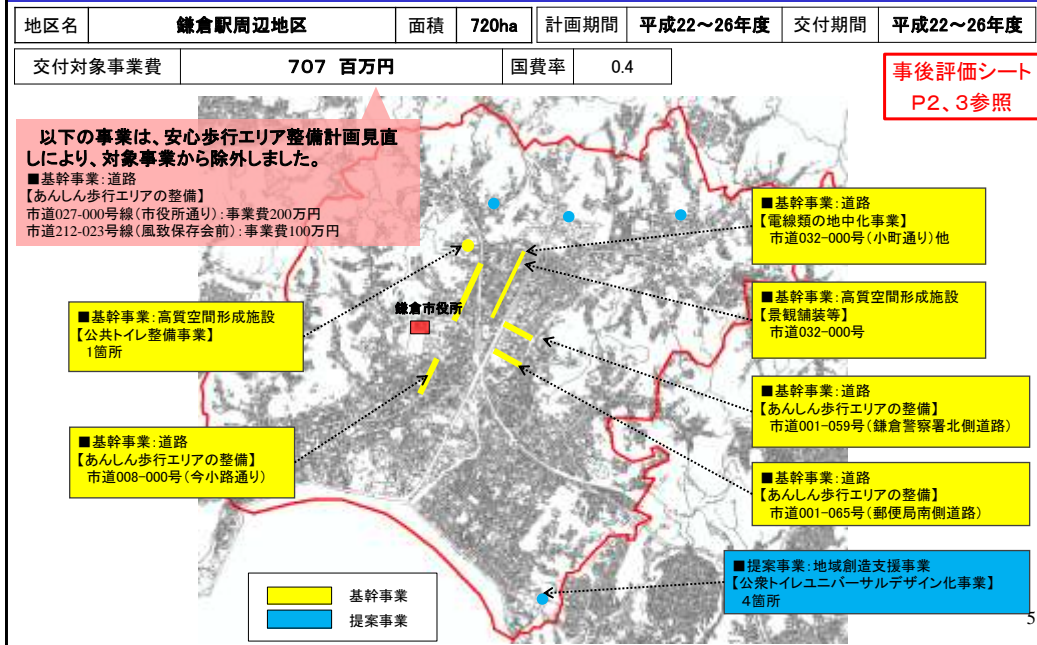
平成27年1月

神奈川県 鎌倉市

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

- (1) 成果の評価**
 - 事後評価シート① 都市再生整備計画(案)に定められた目標の達成状況
 - 事後評価シート② 都市再生整備計画(案)に定められた事業の達成状況(達成状況)
 - 事後評価シート③ 都市再生整備計画(案)に定められた事業の達成状況(達成状況)
 - 事後評価シート④ 都市再生整備計画(案)に定められた事業の達成状況(達成状況)
- (2) 実施過程の評価**
 - 事後評価シート① 実施過程の評価
 - 事後評価シート② 実施過程の評価
- (3) 効果検証結果の評価**
 - 事後評価シート① 効果検証結果の評価
 - 事後評価シート② 効果検証結果の評価
- (4) 今後のまちづくり方針の作成**
 - 事後評価シート① 今後のまちづくり方針の作成
 - 事後評価シート② 今後のまちづくり方針の作成
 - 事後評価シート③ 今後のまちづくり方針の作成
 - 事後評価シート④ 今後のまちづくり方針の作成
- (5) 事後評価結果の公表**
 - 事後評価シート① 事後評価結果の公表
- (6) 評価委員会の審議**
 - 事後評価シート① 評価委員会の審議

2. 事業概要の振り返り



2. 事業概要の振り返り

〇まちづくりの目標

豊かな歴史的遺産と身近な山並み、青い海などの良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の顔づくりを市民との協働による再創造の更なる推進を図る。

【目標①】

駅周辺において、観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなす快適な環境整備を図る。

【目標②】

駅から主要観光スポット・公共施設までの改善を実施し、市民及び来訪者が安全で安心して歩ける歩行者空間の更なる改善を図る。

2. 事業概要の振り返り

○あんしん歩行エリアの整備
(今小路通り、鎌倉警察署北側道路、郵便局南側道路)

事後評価シート
P6、7参照



7

2. 事業概要の振り返り

○電線類の地中化事業
○景観舗装等事業
(市道032-000号線:小町通り)

事後評価シート
P6、7参照



8

2. 事業概要の振り返り

○公共トイレ整備事業

(寿福寺)

○公衆トイレユニバーサルデザイン化事業

(鶴岡八幡宮休憩所内、荏柄天神社、光明寺、浄光明寺)

事後評価シート
P6、7参照



9

2. 事業概要の振り返り

	事業区分	事業名	事業費 (百万円)
基幹事業	道路	市道032-000号線(小町通り)他	487
		市道001-059号線(鎌倉警察署北側道路)	4
		市道001-065号線(郵便局南側道路)	4
		市道008-000号線(今小路通り)	36
	高質空間形成施設	—	108
提案事業	地域創造支援事業	公衆トイレユニバーサルデザイン化事業	93
	事業活用調査	事業効果分析業務	3

事後評価シート
P6、7参照

10

3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○数値指標 目標の達成状況

事後評価シート
P8、9参照

指標	単位	従前値		目標値		評価値		達成度判定	1年後の達成見込み	
		2020	H20	2026	H26	H25	見込み			
指標1	観光客の満足度	%	74	H20	80	H26	78	H25 見込み	△	なし
指標2	安全・安心な歩行者空間に関する満足度	%	13	H20	17	H26	14	H25 見込み	△	なし
指標3	良好な都市景観形成に関する満足度	%	52	H20	54	H26	62	H25 見込み	○	-
その他 指標1	観光客数	万人	1,934	H20	-	-	-	H25 見込み	※	-
その他 指標2	交通事故発生件数	件数	305	H20	-	-	-	H25 見込み	※	-

※新たに設定した指標であり、目標値は設定していないが、数値的な効果が確認できると判断する。

11

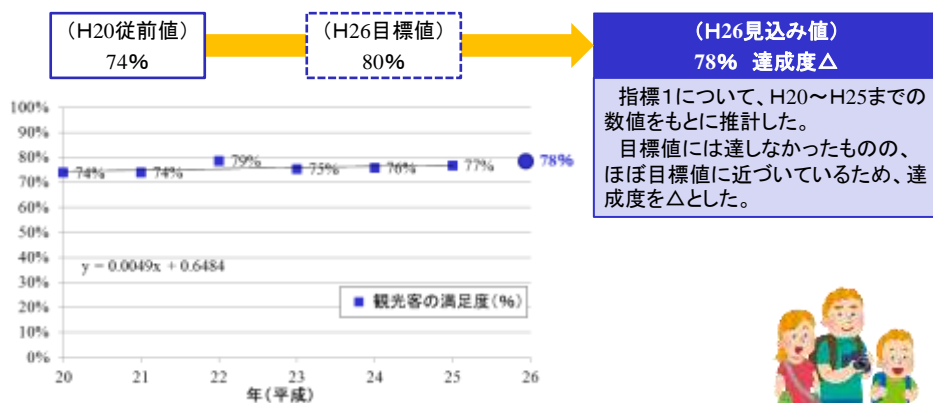
3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○指標1: 観光客の満足度

事後評価シート
P8参照

<計測手法、評価値の求め方>

年4回実施している聞き取り形式のアンケート調査と観光商工課ホームページで随時受け付けている満足度アンケート調査結果の数値を用いた。平成20年から平成25年までの満足度の上昇率をもとに、評価基準日の評価値(見込み値)を推計した。



12

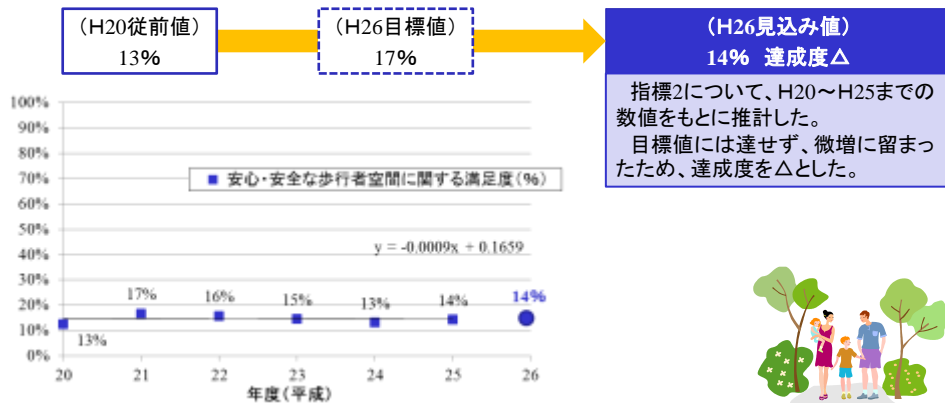
3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○指標2:安全・安心な歩行者空間に関する満足度

事後評価シート
P8参照

<計測手法、評価値の求め方>

毎年継続している市民意識調査の鎌倉地域の数値をもとに、平成20年度から平成25年度までの安全・安心な歩行者空間に関する満足度の上昇率を用いて評価基準日の評価値(見込み値)を推計した。



13

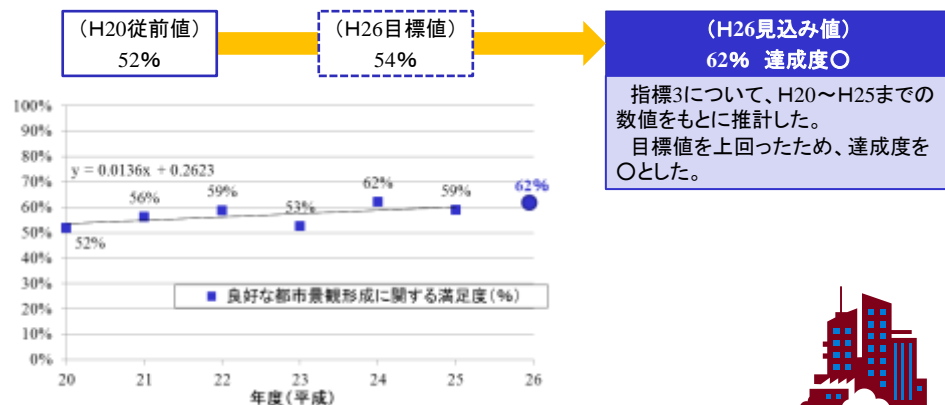
3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○指標3:良好な都市景観形成に関する満足度

事後評価シート
P8参照

<計測手法、評価値の求め方>

毎年継続している市民意識調査の鎌倉地域の数値をもとに、平成20年度から平成25年度までの良好な都市景観形成に関する満足度の上昇率を用いて評価基準日の評価値(見込み値)を推計した。



14

3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○その他指標1: 観光客数

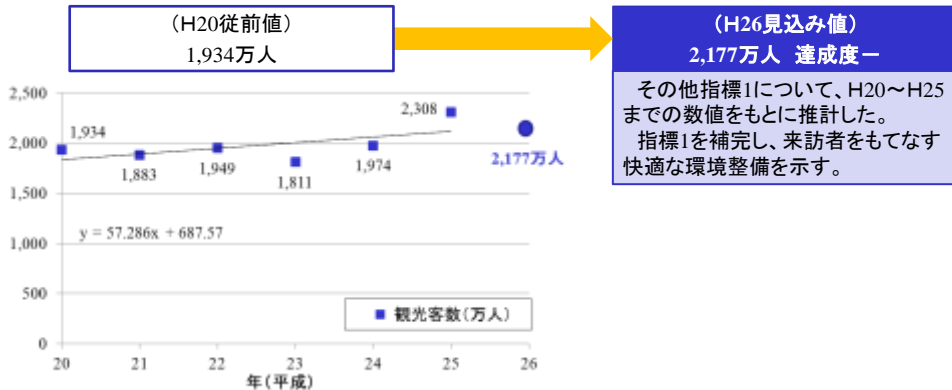
事後評価シート
P9参照

<本指標を取り上げる理由>

指標1「観光客の満足度」を補完する指標として、「観光客数」が観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなす快適な環境整備を示す指標として、ふさわしいと考える。

<計測手法、評価値の求め方>

平成20年から平成25年までの鎌倉市観光客数データを用いて平成26年の観光客数を推計し、評価基準日の評価値(見込み値)とする。



15

3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○その他指標2: 交通事故発生件数

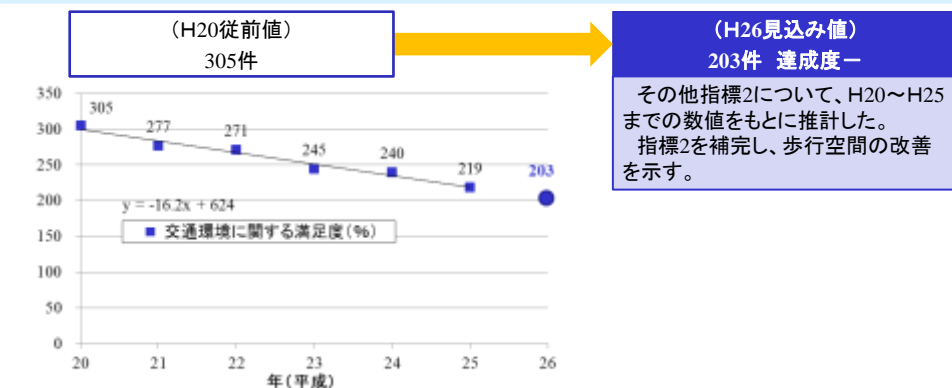
事後評価シート
P9参照

<本指標を取り上げる理由>

狭隘な道路環境により交通渋滞や歩行者の安全確保に支障をきたす状況となっているため、鎌倉地域内の交通事故発生件数の推移は、歩行空間の改善を示す指標としてふさわしいと考えられる。

<計測手法、評価値の求め方>

平成20年度から平成25年度までの鎌倉市の交通事故発生件数のうち鎌倉地区の数値を基に、交通事故の発生件数を推計し、評価基準日の評価値(見込み値)とする。



16

3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○定量的に表現できない定性的な効果発現状況

事後評価シート
P9参照

- ・電線の地中化によって、見通しが良くなり、山の稜線が望めるなど良好な景観が形成された。
- ・カラー舗装によって、歩行者、ドライバーにとって歩車道の区別がわかりやすくなった。
- ・遮熱性をもった舗装としたことで、歩きやすくなるとともにヒートアイランド抑制につながった。
- ・トイレのユニバーサルデザイン化で、障害のある方や外国人観光客も安心して観光スポットを巡れるようになった。

17

3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

各実施事業がどのように関係し効果を発揮しているか等を整理

事後評価シート
P11参照

指標の種別		指標3	その他指標1	その他指標2
指標名		良好な都市景観形成に関する満足度	観光客数	交通事故発生件数
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	指標改善への貢献度	指標改善への貢献度
基幹事業	道路事業 (市道032-000号線(小町通り)他)	◎	○	◎
	道路事業 (市道001-059号線(鎌倉警察署北側道路))	◎	○	◎
	道路事業 (市道001-065号線(郵便局南側道路))	◎	○	◎
	道路事業 (市道008-000号線(今小路通り))	◎	○	◎
	高質空間形成施設事業(-)	◎	○	-
提案事業	地域創造支援事業 (公衆トイレユニバーサルデザイン化事業)	-	○	-
	地域創造支援事業(事業効果分析業務)	-	-	-
関連事業	道路	◎	○	◎
	鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業	-	○	-
	鎌倉アダプト・プログラム	-	○	-
	鎌倉シルバーボランティアガイド事業	-	○	-

18

3. 事後評価の結果について ①成果の達成度評価について

○目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

事後評価シート
P12参照

各実施事業がどのように関係し効果を発揮しているか等を整理

指標の種類		指標1		指標2	
指標名		観光客の満足度		安全・安心な歩行者空間に関する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	要因の分類	指標改善への貢献度	要因の分類
基幹事業	道路事業 (市道032-000号線(小町通り)他)	△	Ⅲ	△	Ⅲ
	道路事業 (市道001-059号線(鎌倉警察署北側道路))	△		△	
	道路事業 (市道001-065号線(郵便局南側道路))	△		△	
	道路事業 (市道008-000号線(今小路通り))	△		△	
	高質空間形成施設事業(-)	△		-	
提案事業	地域創造支援事業 (公衆トイレユニバーサルデザイン化事業)	△		-	
	地域創造支援事業(事業効果分析業務)	-		-	
関連事業	道路	△		△	
	鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業	△		-	
	鎌倉アダプト・プログラム	△		-	
	鎌倉シルバーボランティアガイド事業	△	-		

※ 要因の分類:分類Ⅲ:外的な要因で、予見が不可能な要因。

19

3. 事後評価の結果について ②意見募集の結果について

○事後評価原案の公表

事後評価シート
P17参照

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間
インターネット	市ホームページに掲載	平成26年11月4日～12月3日	平成26年11月4日～12月3日
広報掲載・ 回覧・個別配布	広報に担当部署及び市ホームページで公表している旨を掲載	広報かまくら (平成26年11月1日号)	平成26年11月4日～12月3日
その他	担当部署での閲覧・配付	平成26年11月4日～12月3日	平成26年11月4日～12月3日

○公表での住民からの意見(2通)



別紙、意見募集の結果について 参照

主な意見: 評価指標の設定、評価手法について、事業の推進について

20

3. 事後評価の結果について ③今後のまちづくり方策について

○まちの課題の変化、今後のまちづくり方策

事後評価シート
P13、14参照

事業前の課題がどのように変化したかを整理

	事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
課題 1	歩行者が安全で安心して 歩ける道路の整備	・電線類の地中化による電線垂れ 下がりの解消、開放感ある景観 ・景観舗装による街並みとの調和 ・遮熱性のある景観舗装の実施に より、ヒートアイランド減少の抑制 ・カラー舗装による歩車分離 ・障害者、外国人観光客にも使いや すい、トイレのユニバーサル化	・整備区間が一部に留まったため、 引き続き未整備部分の事業実施が 必要 ・観光客が集まる地域における公衆 トイレの整備	・電線類の地中化により、開放感の ある見通しの良い景観となったが、 道路上へ出される立看板等違反屋 外広告物が目立つようになった
課題 2	鎌倉駅西口周辺地区に おける関係者協議の継続、 事業実施		・古都鎌倉の顔づくりとなる鎌倉駅 西口周辺地区の事業は、継続中 であり、今後も関係者との協議を 実施し、事業を推進が必要	

<今後のまちづくり方策 効果を持続させるために行う方策>

- ・交通管理者と連携した歩行環境の安全性の向上を図る。
- ・市民協働等を活用した、景観的な視点からのまちづくりを進める。

<今後のまちづくり方策 改善策>

- ・未整備部分の歩行者空間の改善を推進し、安全・安心な歩行空間の
創出を図る。
- ・道路上の景観を阻害するとともに、歩行の妨げとなる無許可の立看
板の撤去を行い、快適なまち並みの創出を図る。
- ・公衆トイレや観光案内板の整備に取り組み、観光客をはじめとする
来訪者の快適な環境改善を図る。

21

3. 事後評価の結果について ③今後のまちづくり方策について

○次期計画への活かしか方

事後評価シート
P16参照

今回のまちづくりの進捗管理について評価し、今後のまちづくりに
活かせる事項について整理

項目	要因分析	次期計画や他地区への活かしか方
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・指標は、事業効果の有無が判断しやすくなるようにすることが 有用である。
	うまく いかなかった点	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・まちづくりの課題や事業の効果・目標を明示した上で、事業 計画を作成する必要がある。
	うまく いかなかった点	

22

3. 事後評価の結果について ④フォローアップ計画について

○フォローアップ計画

今回の評価値について、推計値を用いた指標については再度計測し確認を行う

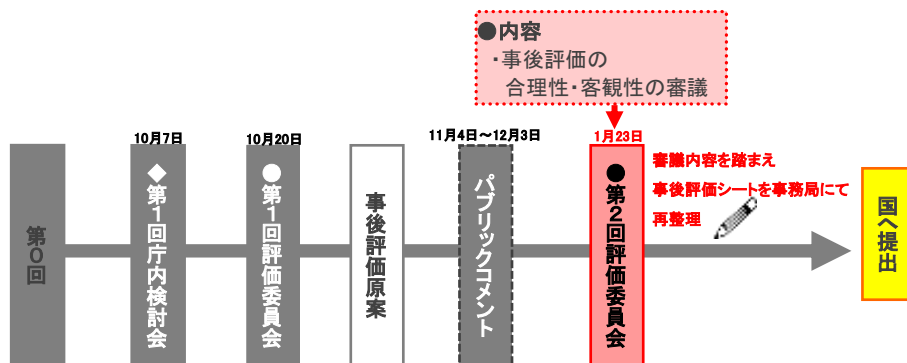
事後評価シート
P15参照

	指標	単位	従前値	評価値	目標達成度判定	フォローアップ予定時期
指標1	観光客の満足度	%	74	78	△	平成27年9月
指標2	安全・安心な歩行者空間に関する満足度	%	13	14	△	平成27年4月
指標3	良好な都市景観形成に関する満足度	%	52	62	○	平成27年4月
その他指標1	観光客数	万人	1,934	2,177	※	平成27年9月
その他指標2	交通事故発生件数	件数	305	203	※	平成27年5月

※新たに設定した指標であり、目標値は設定していないが、数値的な効果が確認できると判断する。

23

今後のスケジュールについて



24